



お客様のビジネスを支援する富士通の製品とサービスを 最近発表したプレスリリースの中からご紹介します

プレスリリース一覧 <http://pr.fujitsu.com/jp/>

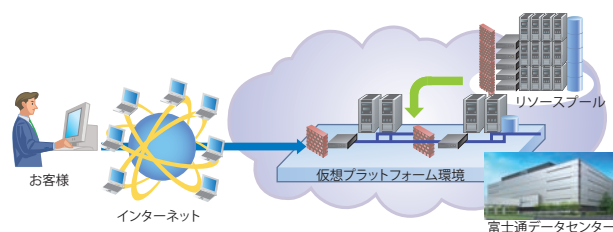
オンデマンド仮想システムサービス

「日刊工業新聞社十大新製品賞 本賞」 「日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞電子版賞」を受賞

富士通はこのたび、クラウドサービス「オンデマンド仮想システムサービス」に関して、日刊工業新聞社より「2010年(第53回)十大新製品賞 本賞」、日本経済新聞社より「2010年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞電子版賞」を受賞しました。

本サービスは、サーバやストレージ等のICTインフラを一括して、富士通のデータセンターからネットワーク経由で仮想的にご提供するもので、お客様が利用用途にあわせ、オンデマンドで利用できるパブリック型のクラウドサービスです。99.99%の高い稼働率を保証しており、企業の基幹システムとして

■ オンデマンド仮想システムサービス



の利用にも耐えうる高い信頼性を確保しています。
富士通は、2010年10月1日より商用サービスを開始し、多くのお客様にご利用いただいています。

[発表：2011年1月6日]

<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/saas/plat/sop/>

ProactnesII SM V01

クラウド・コンピューティング環境やネットワークのトラブル予兆を検知

プロアクトネス ツー エスエム

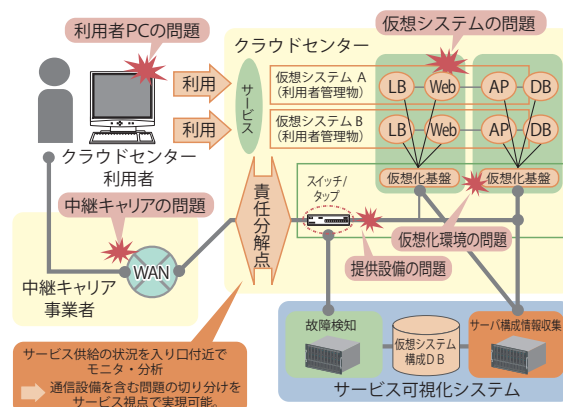
「ProactnesII SM V01」を 販売開始

富士通は、ネットワークを監視するサービス管理ソフトウェア「ProactnesII SM V01」の販売を、2010年12月20日より開始しました。

本製品は、クラウドサービスを提供する大規模なデータセンター内のネットワークや、クラウドサービスとその利用者をつなぐインターネット等のネットワークに対し、通信レスポンスやデータ量(パケット)を監視・分析します。これにより、クラウド・コンピューティングにおける障害発生箇所の特定、トラブル予兆の検知を実現します。

本製品により、お客様のプライベートクラウドやクラウドサービス事業者が提供するパブリッククラ

■ 障害発生箇所の特定



※略語については、次のように読み替えてください。
PC：パソコン、LB：ロードバランサ、Web：ウェブサーバ、AP：アプリケーションサーバ、DB：データベースサーバ

ウド、また既存のICTシステムにおいて、トラブルを未然に防止できるとともに、運用業務の効率化や、万一の障害発生時の早期復旧が可能になります。

[発表：2010年12月20日]

<http://primeserver.fujitsu.com/network/products/lineup/proactnesIISM/>

iCAD V7

100万部品を0.2秒で処理 アイキャドバージョンセブン 3次元CAD「iCAD V7」を 販売開始

富士通は、機械装置設計に利用する3次元CAD「iCAD V7」の販売を、2010年12月9日より開始しました。

本製品は、従来の3次元CADと比べ200倍の高速処理性能を持つ3次元CADエンジンを搭載しています。100万部品の大規模な機械装置の3次元設計データを0.2秒で処理するとともに、これまで複数のシステムで行っていた機械（メカ）・電気配線（エレキ）・制御ソフトの設計を、同一システム上で行うことが可能になります。

これにより、機械装置メーカーは、設計部門から製造部門までが、同一システムの設計情報をリアルタイムに共有でき、構想設計・詳細設計・製造・組立の各段階で生じる情報のズレや作業のムダを防ぐとともに、手戻りや修正も軽減できます。

[発表：2010年12月9日]

<http://jp.fujitsu.com/solutions/plm/cadcam/icadsx/index.html>

CoursePower V1

学習から成績評価までのプロセスを可視化 大学向け授業支援システム コースパワー 「CoursePower V1」を販売開始

富士通は、大学向けに、教材、レポート、テストや成績、出欠状況等の情報を総合的に蓄積・管理する授業支援システム「CoursePower V1」の販売を、2010年12月20日より開始しました。

本製品は、教員や学生が、サーバに教室や自宅のパソコンからアクセスし、その授業で提供される教材を学習しその履歴を振り返ることができるものです。授業の出席受付を携帯電話から行うことができるため、授業運営の利便性を高めます。

教材やレポート、テスト結果等の授業の記録が系統立てて蓄積されていくため、学生は授業の進行に伴い、自己の学習の振り返りや、強み・弱み等の自己分析等を容易に行うことができ、教員は、学生の学習状況をタイムリーに把握することができるため、学生の能力に応じたきめ細かい指導ができます。

[発表：2010年12月17日]

<http://jp.fujitsu.com/solutions/education/products/coursepower/>

ETERNUS DX400 / DX8000 series

サーバ仮想化環境における処理性能、拡張性を向上 「VMware vSphere 4.1」の 「VAAI」に対応

富士通は、ミッドレンジシステム向けディスクアレイ「ETERNUS (エターナス) DX400 series」、及びエンタープライズシステム向けディスクアレイ「ETERNUS DX8000 series」において、VMware社の仮想化プラットフォーム「VMware vSphere 4.1」で提供されているディスクアレイに関するアプリケーション・プログラム・インターフェース「vStorage APIs for Array Integration (VAAI)」を新規にサポートします。

これにより、従来、サーバで実行していた処理をディスクアレイ側で実行することが可能となり、また「VMware vSphere」とディスクアレイの機能が統合され、大規模な仮想化プラットフォームにおける運用の最適化を実現します。 [発表：2010年12月15日]

<http://storage-system.fujitsu.com/jp/>

BillingSaver

SaaS型課金計算システム 「従量課金 on クラウド」を 提供開始

富士通ビー・エス・シーは、同社が開発・販売する課金パッケージ「BillingSaver(ビルディングセーバー)」の課金エンジンを、「従量課金 on クラウド」として、2011年1月より販売を開始します。

企業が顧客を獲得・維持する上で、提供サービスの内容とともに重要なのが価格戦略です。定額課金に比べ複雑で様々な課金パターンがある従量課金計算は、独自にシステム構築をした場合、投資費用は高価となる上、汎用性に欠けるという問題がありました。

「従量課金 on クラウド」は、複雑な料金体系に対応する課金計算システムを、業種を問わず、簡単・低コストでご利用いただけるSaaS型のサービスです。ビジネスの形態にあわせた柔軟かつ的確な従量課金計算で、お客様のビジネスを支援します。

[発表：2010年12月8日]

<http://www.bsc.fujitsu.com/services/billingsaver/>